

2025 FISU World University Games

Report 3 (7/22,23)

7月22日(火)、23日(水)

大会に向け、会場であるRegattabahnは、日増しに賑わいが増してきております。WUG日本代表チームは、宿泊先の移動も完了し落ち着いた環境で集中して調整をすすめております。



全体ミーティングの様子



M2xクルー。左から S宮口選手(NTT東日本)、B中島選手(日本大学)。



W2xクルー。左から B岸本選手(NTT東日本)、S猪野選手(明治安田)。



M1x 菅原選手(関西電力)。



M2-クルー。左から S青木選手(明治安田)、B上戸選手(明治安田)。



W1x井上選手(立教大学)

【NEIGHBOURHOOD方式について】

今回のWorld University Gamesでは、大会組織委員会の狙いもあり、FISU GAMES NEIGHBOURHOOD(ネーバーフッド)方式を採用しております。

これは、選手村のコンセプトを再設計したもので、宿泊は開催会場の宿泊施設(ローイング日本代表選手はWyndham Duisburger Hofに宿泊)を利用し、大会会場はローイングコースであるRegattabahnで行われます。そのRegattabahnから約1.5kmの距離にある「Sportschule Wedau」がネーバーフッドとなっており、Duisburg市内開催の水球、ビーチバレーなど同じネーバーフッドを利用しております。

選手たちは、朝食を宿泊施設でとり、昼食、夕食をネーバーフッドでとっております。ネーバーフッドでは昼食、夕食、スナックを提供に加え、ジム、アイスバス、ランドリーサービス、医療などのサービスが提供されております。

また、上記に加え、ローイング競技や他競技の仲間、ボランティアスタッフなど様々な交流は促進し持続的な友情築くことも狙いとして含まれています。

なお、ローイング、水球、ビーチバレー会場、そして、ネーバーフッドはシャトルバスで繋がり、移動におけるサポートも充実しています。



今回のローイング、水球、ビーチバレーの3競技のネーバーフッドとなるSportschule Wedau。



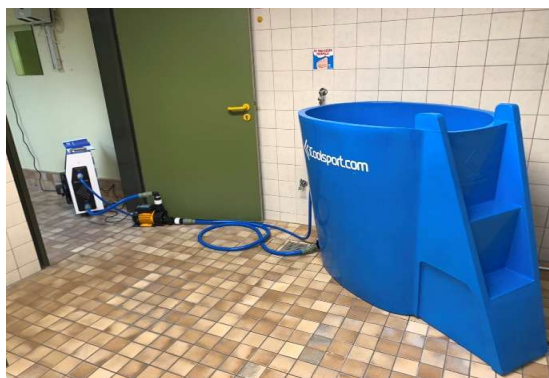
昼食、夕食はネーバーフッドでとります。



ネーバーフッドには、選手がくつろげるラウンジや、軽食がいつでもとれるコーナーがあります。



トレーニングジムの様子



アイスバスも設置されております。



セルフランドリーサービス



会場ならびに町のいたるところにElectric scooterのレンタルできるしくみがあり携帯電話に専用のアプリをいれ、使った時間でレンタル料が決済されるようです。海外選手は活発に利用しています。



シャトルバスは、3競技会場とネーバーフッドを巡回するバス(写真左)とホテルー会場間を行き来するバス(写真右)の2路線があります。

明日7月24日(木)にはチームマネージャーミーティング & Drawがあり、組み合わせが決まり、明後日7月25日(金)から熱戦がはじまります。